

宮崎国際大学 教育学部 ニュースレター

一期生が教員採用試験で期待に応えてくれました！！

教育学部長 福田 亘博



教育学部では、今年一期生の4年生が初めて教員採用試験を受験しました。各県の教員採用試験結果は下記のとおりです。本学部の学生は良く勉強し、現役で合格するという新しい歴史の始まり・快挙を成し遂げてくれました！

さて、この快挙には学生の頑張りをまず挙げたいと思います。入学後、体系的・段階的に設置したカリキュラムを着々と履修し、優秀な成績を収め、さらには学生教職支援センター等で毎日夜遅くまで勉強しました。しかし、宮崎県における教員採用試験合格の平均年齢は28歳といわれており、過年度生が圧倒的に有利である中で、現役生がこのように合格できるのでしょうか？

教育学部では平成26年度設置時に学生教職支援センターを直ちに立ち上げました。当センターでは教員採用試験に関わる情報・参考書を整備・提供し、また各県の教員採用試験問題を中心とした対策講座を1年後期～4年前期の間切れ目なく実施しました。また、これを補完する目的で「教科・教職自主ゼミ」も開講しました。夏季合宿研修も忘れてはなりません。合宿研修では教員採用試験二次試験合格を目指した対策講座・模擬授業・個人面接・場面指導・集団討論等を実施しました。また、採用試験一次試験合格者を対象とした短期集中特訓講座も実施するなど、教育学部では総力を上げて支援してきました。今回、採用試験に合格した学生はこれらの対策講座等に全員が出席していたことから、これらの教育支援システムが極めて有効であったことは明白でしょう。

宮崎国際大学教育学部では、学生諸君の現役合格を祝すると同時に、今後とも、教員採用試験等の現役合格に向けて、上記の教育支援システムを機能させ、教職員一丸となってお世話していきたいと思えます。



特別対策合宿では、レクリエーションとして、室内オリンピックを実施しました。

目次

- 一期生が教員採用試験で期待に応えてくれました..... 1
- 公立学校教員採用選考二次試験で10名合格..... 1
- 特別対策合宿A・Bを実施しました..... 2
- 卒業論文について..... 2
- 特別対策合宿A・Bの成果 3
- 教育学部教員より..... 3
- クラブ紹介 ダンスサークル..... 3
- スクールトライアルを終えて..... 4
- 保育実習I bを終えて.... 4
- 入試情報..... 4

ハイライト

教員採用試験に向けて様々なプログラムを実施しています。

一次試験合格発表後の8月中旬に、学生が自信を持って二次試験に対応できるよう、学内で個人面接・模擬授業・場面指導・集団討論それぞれについての対策指導が行われました。



理科「振り子」の模擬授業練習

平成30年度公立学校教員採用選考二次試験で10名合格

学生教職支援センター長 中原 邦博

公立学校教員採用試験一次試験を教育学部から21名が受験し、延べ15名が合格しました。二次試験では、6名が宮崎県小学校に、1名が熊本県・横浜市小学校に合格しました。現役でこれだけ多くの合格があったことは1年次から学内一丸となって、採用試験対策に取り組んできた成果だといえるでしょう。残念ながら結果を出せなかった学生もいますが、現実の厳しさを糧として発奮し、臨時的任用講師等を含めて次の目標に向かって邁進できるよう支援してまいります。

さらに、2名の国際教養学部卒業生が中学校・高等学校教員採用試験〔英語〕に合格しました。

宮崎県高等学校〔英語〕	国際教養学部卒業生	1名合格
東京都中学校・高等学校〔英語〕	国際教養学部卒業生	1名合格
宮崎県小学校	教育学部現役生	6名合格
熊本県小学校	教育学部現役生	1名合格
横浜市小学校	教育学部現役生	1名合格

また、幼保コースの学生1名が宮崎市の公務員試験に合格しました。

宮崎市職員（保育士・幼稚園教諭）⇒教育学部現役生 1名合格

特別対策合宿A・Bを実施しました

期間：平成29年9月20日（水）～9月22日（金） 場所：宮崎県青島青少年自然の家

教員・保育士採用試験への合格を目指して 学生教職支援センター長 中原 邦博

平成29年度の特別対策合宿には国際教養学部教職課程の3年生も参加しました。合宿は3回目の開催で学生のための恒例行事としても形が整ってきました。様々なプログラムの中でも特に新規採用教員の講話は、受講した学生の心に響いたようでした。

3年生小幼コースでは二次試験をイメージできるよう、個人面接・模擬授業・場面指導・集団討論等を行いました。学生は事前に配布された資料をもとに準備をして臨みました。課題がより明確になり、今後の学習への意欲を高めた学生が多かったようです。

幼保コース3年生は全員が事前に作成した保育指導

案をもとに、模擬保育を行いました。教材研究を深め、教具を自作するなど意欲的に取り組んだことで今後の課題も見つかったようです。

今回の合宿では学生実行委員が中心となって運営しました。学生同士が高めあう姿を宮崎国際大学教育学部のよき伝統としていきたいです。

また、1～3年生の皆さんには、今年度4年生が残した現役合格という素晴らしい成果に続いて、学生教職支援センターの一層の活用や、学年別に実施している教員採用試験対策講座を受講するなど、大いなる飛躍を期待しています。



面接指導をする中原先生(中央)



水泳後の集合写真

特別対策合宿(主なプログラム)				
小幼コース3年	小幼コース2年	幼保コース3年	幼保コース2年	国際教養3年
教員採用試験対策	教職教養	採用試験に向けて		教員採用試験対策
個人面接練習	算数	ピアノ/弾き歌い	個人面接練習	教職教養
模擬授業(国・算)	個人面接練習	個人面接練習	ピアノ/弾き歌い	個人面接練習
模擬授業(社・理)	映画鑑賞	模擬保育	映画鑑賞	教職教養
場面指導練習	国語	模擬保育		場面指導練習
集団討論練習	教員採用試験対策			専門教養
個人面接練習		グループ発表会		英語模擬授業
室内オリンピック				卓球
新規採用教員講話(小学校教諭)		新規採用教員講話(幼稚園)		新規採用教員講話
小論文作成	小論文(講義)	小論文作成	小論文(講義)	小論文
模擬試験(教職教養・専門教科)		模擬試験(専門分野)		宮崎学園中高授業見学等
水泳				

卒業論文について

私は、宮崎国際大学教育学部設置時に着任し、初めての卒業論文指導に取り組んでいます。卒業論文では、統計的手法を用いて教育に関するデータを分析し、知見を得ることを目指しています。具体的には、学生は、

- ・ PISA(国際的な学力調査)の公開データの二次分析による日本の読解力・科学的リテラシーの考察
- ・ ザンビア・マラウイといった途上国における言語的な面と学力の関係
- ・ 教員需要の推計

について取り組んでいます。卒業論文では、テストを用いて収集されたデータを主な分析対象としています。テストは、教育評価に不可欠なツールであり、項目反応理論をはじめとする現代テスト理論は、学術的にも社会的にも重要な役割を果たしています。教師を目指す学生にとって、テストは、日常

卒業論文で考え抜く力を身に付けてほしい

的なものになるでしょう。卒業論文を通じて、テストに関する知識と統計的に物事をみる力を身に付けてほしいと思っています。

余談ですが、私が卒業論文に取り組んだとき、指導教員から「お前の数学は大したことないから、せめて文章ぐらい書けるようになって卒業しろ!」、「15分ぐらい人前で堂々と話せることを身に付けて卒業しろ!」と言われたことを覚えています。

まだまだ未熟者ですが、学生とともに新たな研究成果を出せるように、一緒に研究に励みたいと思います。

(教育学部准教授 渡邊 耕二)



卒業論文に取り組む4年生と渡邊先生

特別対策合宿A・Bの成果

教育学部3年 黒木 茉結
(妻高等学校出身)

今年度の特別対策合宿では、昨年度にはなかった模擬保育やグループ発表などを経験することができ、とても充実した3日間となりました。

模擬保育では、事前に計画した保育指導案に沿って実践しました。しかし、実際に活動してみると、緊張や焦りで、ハサミやキリなどの使い方について注意したり、遊びをふくらませて子どもたちの楽しく思う気持ちを高めたりする声掛けに不十分な点がありました。

また、保育教諭の模擬試験では教養問題の数学に時間をかけすぎてしまい、すべての問題を解くことができませんでした。選択式の問題では、答えの選択肢を減らすことはできても、自信をもって解答できた問題は少なかったように感じました。

私は、今回の合宿で、大きく2つの課題を見つけることができました。1つ目は、子どもの活動の様子に目を配る余裕を持つことで、2つ目は、数学をしっかりと勉強し、苦手教科をなくすことです。これからさらに努力していこうと思います。



模擬保育の様子

教育学部2年 楠見 明日香
(宮崎学園高等学校出身)



私は、合宿がより充実した内容となるように、個人面接の内容をまとめたりするなど事前に準備をして臨みました。合宿中、実際に面接を受けてみると、緊張してしまい自分の考えを上手く伝えることができませんでした。面接の難しさを実感し、人前で話すことに慣れる必要があるという課題を見つけることができました。

合宿では新規採用教員の話聞く時間もありました。その先生の話から、一次試験だけでなく、二次試験の場面指導・集団討論・個人面接・模擬授業に必要とされる能力を身につけるために、早くから意識して勉強していかなければならないことが分かりました。その先生が教員採用試験に向けた勉強のために作成したノートや、参考書なども見ることができ、とても参考になりました。

二年次でこのような経験ができて良かったです。これからも対策講座や教科・教職自主ゼミなどを利用して教員採用試験までの時間を有意義に過ごしていきたいです。

教育学部教員から あの先生のほかに

半世紀前、学部三年の英語の授業でのこと。指名された学生がテキストを音読し始めると、彼女の発音の美しさに忽ち誰もが魅せられた。歌声のような響き。驚嘆の空気が教室に広がる。私も体が熱くなってきた。音読が終わると先生が尋ねた。「ご出身はどちらですか?」「A県です。」「では、B先生をご存知ですか?」「高校で英語を教えてくださいました。」「やはりそうでしたか。よく分かりました。A県だけでなく近畿一円の高校であなたのような発音を教えることができるのは、あの先生のほかにはいらっしゃいませんから。」教師像を模索していた私にとって鮮烈な言葉だった。

教育学部教授 橋口 泰宜



(担当科目：教育と社会、教職概論、教育制度論など)

クラブ紹介

ダンスサークル

教育学部2年 桐木 千賀子 (宮崎学園高等学校出身)

現在、ダンスサークルには40人の学生が所属しています。今までダンス経験がなかった私も、今年の4月からダンスサークルに入りました。主な活動は自分たちでチームを組み、色々なジャンルに分かれてイベント等でパフォーマンスをすることです。チームはイベントごとで変わることもあり、学年や学部に関係なく楽しく踊っています。私は今年の5月から友人と2人でチームを組んでおり、9月24日に行われた先輩方が企画したK-POP(韓国ミュージック)のイベントでチームでのダンスを初披露し、沢山の歓声ももらいました。



ダンスを披露する桐木さん(左)

また、MIC(宮崎国際大学)での大学祭はもちろんのこと、他大学の大学祭にも公募のダンスチームとして参加することができるので、観ている人に楽しんでもらえるようにさらに力を入れて日々練習を重ねています。

ほとんどがダンス初心者でサークルに入って来ますが、基礎の練習もしっかりするので誰でも楽しく活動できると思います。楽しい先輩方を中心とした仲間たちと共にいっぱい体を動かしましょう!

スクールトライアルを終えて

スマイル充実3日間

教育学部1年 長友 一心(日南高等学校出身)



私は10月中旬の3日間に渡り、日南市立吾田東小学校においてスクールトライアルに参加しました。私にとって「Trial」…試み以上の意味を持ち、多くの事を学校という場で体験させて頂きました。

何よりも実感したことは、先生方の熱意ある指導と緻密な計画に基づく授業の実践です。時間の流れを常に意識し着々と進めていく各教科を見学しつつ、自分なりの視点でノートをとりました。また、朝の会、職員会議、6年生を前に話をする機会を設けて頂き、テーマに沿って話す難しさを改めて感じました。何よりも真剣な眼差しで話に耳を傾ける子どもたちの姿は

忘れられません。そして最終日、4年生合同で集団活動を任せられ、元気いっぱいに活動した後、私のピアノ伴奏のもと校歌を歌ってくれたことは母校でのよき思い出となりました。

今後、しっかり専門知識を身に付け、再び教育実習に訪れる日が来ることを励みにさらに学んでいきたいと思えます。

スクールトライアルとは、教職を希望する学生(県内大学の1、2年生及び短期大学の1年生)を対象に、県内の小中学校及び高等学校、特別支援学校で3日間程度学校体験をする、宮崎県教育委員会の主催事業です。学生は受け入れ校の先生方と行動を共にし、日常の職務内容を体験することになります。

保育実習Ibを終えて

教育学部3年 日吉 爽(宮崎西高等学校出身)



2週間の施設実習を終えて、とても充実した実習になったと感じています。私が実習を行わせて頂いた施設には自閉症スペクトラムの子どもが多く在園していました。初めは子どもたちとの関わり方が難しく、上手くいかない日々が続きました。

そこで私は、先生方の子どもへの関わり方を注意して見ていくようにしました。すると、子どもが何かを行う際には、ただ「〇〇しようね」と伝えるのではなく、例えば歯磨きをする場面では歯ブラシを見せながら「歯磨きをしようね」と声をかけていました。声をかけるとともに実際に、物を見せ視覚的に伝えること

が大切だということを学びました。そして、そのことを自分なりに実践するうちに、少しずつですが子どもたちと上手く関わるようになっていきました。

実習中に肌で感じた、先生と子どもたちとの間にある温かな繋がりには日々の授業だけでは経験することができないものでした。現在、友達との関係が上手く結べないというような「気になる子」といわれる幼児は必ず現場にいると聞きます。そのような子どもたちが伸び伸びと過ごし、良さを伸ばしていける環境づくりを行うことのできる保育教諭を目指して、今後も勉学に励んでいきたいと思えます。

選考区分	出願期間	試験日
◆AO入試(第5回) ◆推薦入試(Ⅱ期)	平成29年 12月1日(金)~12月15日(金)	12月23日(土)
◆AO入試(第6回) ◆推薦入試(Ⅲ期) ◆一般入試(前期) ◆大学入試センター試験利用入試(前期) 他	平成30年 1月9日(火)~2月2日(金)	2月10日(土) 〔大学入試センター試験利用入試を除く〕
◆大学入試センター試験利用入試(中期)	平成30年 2月1日(木)~3月9日(金)	本学独自の試験は課さない
◆AO入試(第7回) ◆一般入試(後期) ◆大学入試センター試験利用入試 他	平成30年 3月1日(木)~3月22日(木)	3月24日(土) 〔大学入試センター試験利用入試を除く〕

入学試験についての詳細は、本学ホームページ及び、学生募集要項及びをご覧ください。

入試情報



学生募集
要項(PDF)



宮崎国際大学

国際教養学部 比較文化学科
教育学部 児童教育学科

〒899-1605 宮崎県宮崎市清武町加納丙1405番地

電話: 0985-85-5931 FAX: 0985-84-3396

ホームページ: <http://www.mic.ac.jp>



大学教育再生加速プログラム